

ふくし



千 せん

鎌倉市議会議員

一 はじめ

「千一と介護・福祉・
バリアフリーを考える会」

会報 2017年1号

千 一 (せん はじめ)



鎌倉市扇ガ谷在住。鎌倉市議会議員4選。
神奈川大学経済学科卒業。
全身強いアテトーゼ（不随意運動・凝縮）を持った出生時からの重度の脳性麻痺により、手足、言語に障害を持つ。自由に動く左足指で、文字を書き、音声キーボードをたたくことでコミュニケーションをとる。
「横浜市脳性麻痺者協会」副会長をつとめた。障害者の「グループホーム」の運営に携わってきた。鎌倉の介護・福祉・バリアフリー充実、前進のために只今、奮闘中！！

<連絡先>

〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷 4-27-7
電話 0467(61)2031
FAX 0467(61)2032

E-mail senhaji@jcom.zaq.ne.jp

URL <http://www.senhajime.jp/>

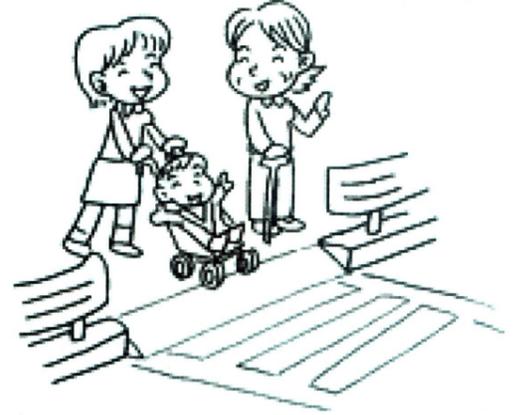
*お問い合わせ先：TEL 0467-31-6565<森木>

千一が 推し進めていきたい事

1. ハンデを持った方の意見が反映される社会をともに作ります。
2. どのような障がい・病気・けがの方でも選挙に立候補でき、または選挙の時投票できるように努めます。
3. 誰もが移動しやすい交通政策の実現を目指します。
 - 電車・バス・タクシーなど公共交通を誰でも利用できるように努めます。
 - 危ない踏切を快適に誰もが渡りやすくなるように努めます。
4. 高齢の方も障がいのある方も住みよい地域社会を作ります。
 - でこぼこな歩道の解消や段差をなくすように努めます。
 - 不完全な点字ブロックを整備して目の不自由な方が通りやすくするように努めます。

- 災害時、自力で危険を回避できない方の援護をしっかりと確率していきます。
- 認知症の方やそのご家族の方が地域で安心して生活できるように推し進めます。
- 5. 社会保障を充実したものに改善していきます。
- 介護を受ける方や介護をする方の条件が良くなるように努めます。そして医療保障や所得保障に前向きに努めます。

みんなのねがいバリアフリー



6. 安全でのびのびと個性的な子どもを育てられる社会の確立こそ、私たちの将来を作ります。
7. 通学路での児童の安全確保に努めます。
8. 市内の小・中学校のエレベーターや多目的トイレの推進などバリアフリー化に努めます。
9. 心のバリアフリーこそがよりよい社会を作ります。
 - 子どものころから外見・考えの違いを認めあい、いじめのない学校生活・社会生活にしていくように努めます。
 - 障がいのあるなしにかかわらず、共に学び、共に生きる環境を推し進めます。
 - 人が集まる場所での手話通訳・車いすや移動困難な方への声かけ・サポートなどソフト面でのバリアフリー化に努めます。
10. 犬や猫の殺処分をなくします。またお家のペットは家族同様かわいいものです。

そういう社会こそ「誰もが住みやすい社会」なのだと思います。

災害時要援護者登録制度とは？

災害時要援護者登録制度とは、災害の時高齢者や障がい者など自力で避難が困難な方たちを、鎌倉市及びその地域の方と協力しあい助けようとする制度であり、またその時当事者自身の登録が必要です。

この制度は実は、2002年9月の鎌倉市議会で、私が一般質問で問題提供し提案したものです。その後、2003年1月に県下で初めて鎌倉市でこの制度が始まりました。

当時はほとんどの方が気にもしなかった制度です。しかしその後、藤沢市などでも作られ、東日本大震災の被害によって多くの方が口にされるようになり、国でも取り上げられるようになりました。

最近あらゆる地域の回覧板でもこの主旨のことをおこなっているようです。災害は起こってほしくは絶対にありませんが、この制度を皆様が理解していただくことが大切だと思います。

津久井やまゆり園事件

何の抵抗もできない障がいのある方19人を殺害した事件はアメリカのケリー前国務長官やロシアのプーチン大統領、ローマ教皇フランシスコまでが声明を出した思想・信条を越えた世界を駆けめぐった事件です。“ヒトラーが降りてきた”などと犯人が言い、誰もが否定する事件です。障がい当事者や多くの障がい者団体の方々は山奥に障がいのある方を200人収容すること自体おかしい、地域社会で暮らせるようにすることが良いことだと言っています。

またあの施設は県の施設でありながら、指定管理にし問題ある職員をおいた指定管理者も責任はあり、そのような指定管理者をおいた県には一番大きな責任があります。この事件は多方面から考えなければいけない事件だと思います。